

全難聴女性部だより

第37号

平成29年1月26日発行 発行人：永末淑子 編集：事務局



新年のご挨拶

部長 永末 淑子

あけましておめでとうございます

皆様方には、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。地域の皆様には、日頃から女性部をご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。昨年の奈良大会のバザーでは過去最高の収益となり皆様からの温かいご支援を、役員一同心より厚くお礼申し上げます。

昨年4月には「障害者差別解消法」が施行されました。障害のある人すべての人が対象になり、社会の一員として平等に安心して生活することを目的にしています。

発達障害や身体障害などの生徒が、同じ教室で学べるよう学校生活を支える「特別支援教育支援員」を配置する制度があります。しかし、合理的配慮を義務づけられていても、財政難からサポートを受けられない子供達もいます。子供達の未来のために、私達も支援を求めていきたいと願っています。

昨年は、女性部先輩に悲しい知らせがありました。皆様にはご存知の方もいらっしゃると思いますが、9月27日に前全難聴女性部長の名倉順子様、永眠されました。

2004年5月に名倉部長が中心になり「難聴女性白書」を発行されて難聴女性運動の歴史を学ぶきっかけとなりました。

人生の終わりまで女性部を見守ってくださり感謝しております。

嬉しいお知らせもあります。11月26日～28日に開催された第22回 全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 奈良（まほろば大会）に於いて、前全難聴女性部長 須山優江様と前全難聴女性部事務局長 有延八千代様へ、社会福祉・厚生文化功労者として新谷理事長より表彰を受けられました。私共も誇らしい気持ちで拍手を送りました。

本年も役員一同、女性部のますますの発展のために頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



平成 29 年度 役員・県部長の抱負



◇部長・福岡市部長：永末淑子

あけましておめでとうございます。今年は、全難聴女性部の役員会、県部長会議、総会を福岡市で開催します。6月30日（金）～7月2日（日）です。2日の観光は思案中です。九州ブロックで女性部があるのは福岡市だけですが、窓口の各県にも参加を呼びかけ、理解を深めて頂く良い機会になると思います。また、役員改選もありますが、無理をせずに少しずつ交代して新しい方にも担当して頂ければと思っています。ご協力をよろしくお願いします。

◇副部長・川崎市部長：伊藤雅子

ご家族の皆様とお健やかにお正月を迎えられたことと思います。昨年は大変お世話になり感謝しております。

新年を迎えて思うことは、今年こそ災害や重大事件等が発生しない平和な年であるようにと願っています。私も高齢者となり活動を継続する事で頭を痛めています。健康第一で頑張ります。女性部は、協会の行事にも協力し、活動していかねばならないと考えます。皆さんの意見を聞いて楽しく、笑い合える内容を企画したいと思っています。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

◇副部長・奈良県部長：藤岡央子

昨年は福祉大会が奈良県であり、盛況に無事終えることが出来ました。これもひとえに皆様のご協力があったの事、御礼申し上げます。

また、自分自身の力のなさを痛感する良い機会になりました。反省すると共に、今年のテーマとして「和」を挙げたいと思います。人との関わりをより一層大切にしていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い致します。

◇事務局長・岐阜県部長：加藤千津子

あけましておめでとうございます。昨年は皆様にいろいろご協力をいただきまして、ありがとうございました。今年もよろしくお願い致します。

全難聴女性部も各県女性部も高齢化が進み後継者に苦慮する様子をお聞きします。そのため長く女性部として活動されながら止む無く窓口又は休部となる地域も出てきています。存続するための工夫を考える時期にきています。会員の増員、後継者の育成に取り組む活動を考えたい。

◇事務次長・和歌山県部長：蔦尾東紫

明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願い致します。

部長になって4年目まだまだ新米の私でしたが、昨年は全難聴女性部役員・県部長会議・総会・観光が和歌山で開催され、手探り状態から皆さんに知恵を出して頂きなんとか無事に終わることが出来ました。

しかし、ホッと一息つく暇もなく仕事と協会の二足わらじで大変でしたが、皆様のご協力のおかげで充実した一年となりました。

今年は心身共に穏やかにゆっくりと、ペンギンのようにトコトコ歩みたいと思います。

が、今年も地元協会の役員改選そして全難聴女性部の役員改選の年でもあり、どうなるかはわかりませんが自分に与えられた職責を確実に実行して行きたいと思っております。

◇事務次長・兵庫県部長：庄司美絵

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

家の事情により、皆さんに迷惑をおかけしっぱなしで、申し訳ございません。

今年も家族や福祉のサービスの力を借りて、上手く調整出来たらと思っております。

全難聴だけでなく、県や地元では女性の高齢化が増加し、なかなか集まらないのが現状です。子育てから解放されたアラフォー世代の仲間を集めて、何か企画をたてたらと考えています。皆さんの声を下さい。

◇会計：磯島都子

明けましておめでとうございます。

昨年は肝心な時（奈良大会）に参加できずに残念でしたが、役員の方々が一丸となってバザー一販売等をやってくださいました。感謝！！(*´▽`*)。本当にありがとうございました。今年も“超”充実な年になりそうですが、一つひとつの行事に全力で取り組み学びながら知識・？（非常に鈍感なので）を深めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◇広報・横浜市部長：飯島サダ

明けましておめでとうございます。今、ふり返ってみますと横浜市の部長6年、全難女性部広報役員4年と無我夢中で、やってきました。また、くよくよしない性格と丈夫なだけ取り柄と思いつつも身体に自信がなくなってきました。これからは女性部長としての仕事を前任者から教えて頂いたように、自分も少しでもお役に立てるよう出来る限り協力していきたいと思っております。会員の皆様方には大変お世話になり感謝を申し上げますと共に任期まで頑張ります。最後になりましたが、皆さま方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

◇広報次長・東京都部長：明田美奈子

東京協会の女性部長を引き受けて、早いもので3年目になります。

女性部活動も無知のまま部長を引き受けてしまいましたが、若い部員が素晴らしい力を発揮してくれたことに助けられました。

お陰様で皆様のご協力の下、昨年の10月1日に関東ブロック女性の集いを開催することが出来ました。もっと若い方に興味を持っていただける女性部を目指して、少しずつ新しい風を入れていかなければと考えています。

◇監査：塚本茂子

新年おめでとうございます。

寒い日の空気の澄んだ日は、近くに群青の筑波山が、遠くは雪をかぶった日光連山と富士山が見え、特に夕映えと富士の峰のシルエットは見事です。美しい自然を眺めながら穏やかに生活できることは幸せなことですが、自然は時々、惨い牙をむきだし、忘れかけた頃に襲いかかってきます。

昨年4月の熊本地震や10月の台風10号による被害は、まだ記憶に新しいと思っております。この1年、自然災害のない穏やかな年でありませうように、またたくさんの方々とは交流し刺激のある生活でありませうように、皆さま本年もよろしくお願いいたします。

◇監査・大阪市部長：高田郁代

全難聴女性部の役員として…70を過ぎて初めて役員を務めるのはきついものがあります。若

い方に譲るまでの少しの間、私の能力体力の許す範囲でお役にたてるならば、と思っています。女性部部長として…今年は何と言っても府と合同で開催するブロックの集いを成功させること！これに尽きます。もう一つは、新たな会員を女性部の活動に引っ張り込むこと。ちょっとでも若返るように。

◇相談役：須山優江

全難聴女性部の皆様、良いお年をお迎えになりましたでしょうか？

去年は、思いがけずに全難聴女性部から表彰していただき、大変嬉しかったです。どうもありがとうございました。私の方は今年も老々介護が続きますが、頑張りたいと思っています。女性部の発展と皆様のご多幸を心からお祈りしております。

◇札幌市部長：部長交代（未定）

◇茨城県部長：高橋喜美子

部長になって3年が過ぎようとしています。今年あと1年、なんとか頑張っって次の人に繋げたいです。悩みは例会の参加者が固定化して、新しい人に参加してもらえないことです。例会に何か新しいことをと考えるはいるのですが、若い協力者の考えを取り入れていきたいと思っています。

◇群馬県部長：渡辺澄江

昨年4月より、「障害者差別解消法」が施行されました。誰もが安心して生活できる社会を目指して、難聴者の情報保障の向上を推進させましょう。

◇長野県部長：浜富美子

新年おめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

酉年は「幸運を取り込む年」とも言はれ希望の持てる年になりそうです。我が協会の女性部は、毎月集まることは難しいですが年二回のお楽しみ会をしています。今年はどんな企画が出るのかと楽しみです。毎月開催される地域難聴者の会も県内4カ所で開催。各会それぞれの企画で継続していきたいです。

◇新潟県部長：大西邦子

新潟市は近年雪のない新年を迎えています。会員も高齢者が多くなっていますが、みんな元気で女性部活動を継続できることが一番の願いです。無趣味な私は、仲間たちと一緒に楽しく活動することが生きがいになっています。関東ブロック会議や全国福祉大会で皆さまとお会いできることを楽しみにしております。今年もよろしく願いいたします。

◇滋賀県部長：服部邦子

新年おめでとうございます。

今年酉年ですね。酉のように我女性部も羽ばたけるように元気でありたいものです。

毎年の企画内容は大体同じですが、去年は焼き物体験を取り入れてみました。思っていたより好評でしたので、年齢に関係なく新たな体験も必要だなと思いました。

今年も会員の希望も含めて役員で検索しつつ、気持ちを新たに女性部を盛りたてたく思っています。今年もよろしく願いします。

◇大阪府部長：大阪府 橋川みえり

あけましておめでとうございます。

今年女性部近畿ブロック交流会が大阪で開催されます。私が部長になって初めての大きな行

事です。大阪市の役員さんや前年の大阪府の女性部長さんに教えてもらいながら、一つ一つその手間に驚き戸惑いながら準備に取り組んでいます。その中でも私に欠けるものは「気配り」だと痛感しています。今年は色んな場面での「気配り」をもっと上達させたいです。

◇京都府部長：片山ひろみ

新年あけましておめでとうございます！

復活して早一年が過ぎ、いつのまにか近畿女性部のみならず、全難聴女性部の皆様方とも何年来かの仲間のようになり打ち解けていると実感しています。

昨年の全難聴福祉奈良大会に於きましては、女性部企画の第二分科会で貴重な経験をさせて頂き、またバザーでも共に頑張る素晴らしさを味わいました。

今年もこの延長線上として、更なる良き思い出を積み上げて行きたく気持ちを新たにしています。

◇神戸市部長：竹内かつゑ

明けましておめでとうございます。仕事を辞めたのを機に、昨年度から地元で広報、女性部を担当し、何もわからぬまま右往左往している状態です。仲間に助けられて失敗しながらも、新しい年を迎えることができました。生き方の選択肢は多種多様です。その中で活動していくことの難しさを実感していますが、これからも仲間とともにスキルアップをはかりながら前進していきたいと思えます。

◇山口県部長：部長交代（未定）

第22回全国中途失聴者・難聴者福祉大会in奈良(まほろば大会)

第2分科会報告(参加者63名)

第1部 講演／講師：奈良十輪院 橋本純信住職

1) 十輪院の略歴：鎌倉時代より極楽往生を願う寺として信仰を集め、大和盆地に矢田寺・福智院と並び靈驗ある寺と称されている。本尊は石仏の地藏菩薩。

2) 仏教の教え：死後の世界とは四次元の世界、すなわち宗教が教える世界です。

仏教では、心のサイクルに四有う（しう）という4つの

世界がある。本有（ほんぬ）は受精してから死ぬまでの期間で今いる世界。死有（しう）は死の瞬間で臨終のこと。中有（ちゅうう）は49日間あって、これを過ぎると、また生まれる。

生有（しょうう）は生の瞬間。



3) **日本仏教の歴史**：538年に百濟から伝来。**飛鳥時代**に崇仏派と廃仏派が争う。**奈良時代**には南都六宗ができた。東大寺は華嚴宗、興福寺は法相宗、唐招菩提寺は律宗。奈良時代は桓武天皇により平安京遷都。空海・最澄が新しい仏教を作る。来世を願う浄土真仰が盛んになり平等院・浄瑠璃寺が造られた。**鎌倉時代**には、民衆救済のため



の純日本的な仏教が広まり、日蓮宗、浄土宗などが生まれ、禅僧も入って武家社会が広まった。**室町時代**には、浄土真宗が勢力を持った。**戦国時代**は、南無阿弥陀仏を唱えると極楽浄土できると考えられた。寺院が設立され僧侶による葬祭が檀家制度に繋がっていく。**安土桃山時代**には、織田信長は天下統一に役立つ寺院は保護したが、対峙する寺院には厳しかった。**江戸時代**は、キリスト教を廃止し、島原の乱の後、厳しく取り締まった結果、国民はどこかの檀家になった。**明治時代**は、廃仏毀釈で寺は廃退していくが、家制度は強くなり檀家制度は存続する。**大正時代**は、天理教、金光教など新興宗教が生まれ仏教も安定期に入った。**昭和時代**は、仏教に対して先祖崇拝の役割のみ求められるようになっていく。**平成**では、世の中が一変し家制度の崩壊、檀家制度も崩壊する。寺は門徒を広げ人々が求めるものに敏感に応じていかねばならない。信仰は大事な心の支えになるもの。

☆**瞑想体験**：瞑想する意味：頭の中には9割は過去のこと、1割は未来のことを考えている。現在のことに、集中できるよう静かな心にするため。仏教では「覚」＝「悟」悟りは難しいのではなく気づくことで、そのために瞑想がある。

1つの方法の説明：目を閉じて川を想像し、ほとりに座る自分を想像する。リラックスし大きく深呼吸を3回。次に呼吸を意識して吐いて吸う、を1回。10回繰り返す。

第2部 パネルディスカッション／座長：新谷友良全難聴理事長

パネラー：橋本純信住職、片山ひろみ京都府女性部長、藤岡央子奈良県女性部長

パネラーの片山ひろみ様から檀家について、藤岡央子様には不思議な体験を語っていただいた。

会場からは初七日について、お布施について、お墓について、先祖供養について、法要についての質問があった。



まとめとして、一番関心のあることは、この先自分がいなくなったら、子供に負担をかけたくない、お墓の問題や仏壇の管理をどのようにしたらいいか。永代供養にお願いするケースも増えてきた。日本人は、骨を非常に大事にする。でも、仏教では、骨には魂が宿っていない、お骨は拝むものではないと考える。死者の亡骸を置いて、魂をよろしく願いますと拝むもの。儒教では、親に孝行することで、骨に魂が宿ると考えます。



「たましい」には、二つある。「魂」と「魄」、「魂」は、心、精神に宿る。「魄」は、骨に宿る。最後に、仏教やお寺の役割を書かれた、ペンネーム赤木じゅん著書『ああ、檀家に殺されるう!! ~ある僧侶の嘆き』に檀家制度は大きな変換期にきている。全難聴の立場からしても、組織は何のためにあるのか?その意味や人を集める工夫を考える上で参考になる本です。

※参加者にアンケートをお願いしました。アンケートの集計は別紙参照してください。

第2分科会に参加して(感想)

埼玉県難聴者・中途失聴者協会

松島みどり

第22回全国中途失聴者・難聴者福祉大会in奈良が、11月26日~27日、奈良県文化会館で開催されたので、参加して来ました。

紅葉の見頃は、過ぎていましたが、向かい側の奈良公園には、何頭かの鹿が、いました。

第2分科会は、女性部担当で、「再び、奈良で、歴史と文化に触れてみよう」のテーマに惹かれ、参加を申し込みました。

仏教文化が色濃く残っている奈良で、どんな話が聞けるのかしらと、十輪院の橋本純信住職の講演が聞けるのを、楽しみにしていました。

出席者は、63名だったそうです。

第1部は、橋本住職の講演で、十輪院に安置されている地藏菩薩や伝説、死後の世界、日本仏教と寺院の変遷など、スライドで指し示しながら、解かりやすく話してくださいました。

六道、輪廻転生・・・etc. この言葉を見聞いた事はあっても、今までは、抽象的だったので、具体的に理解できたように思います。

10分間の瞑想体験では、短いような長いような感じになりました。

第2部は、難聴女性版「ぶっちゃけ寺」パネルディスカッションで、新谷理事長が座長、橋本住職、京都在住の片山さん、地元の藤岡さんが、パネリストでした。

片山さんは、檀家としての立場から、藤岡さんは、ご自分の不思議な体験について、それぞれ発言されました。

質問者からは、お布施、分骨の可否などの話が寄せられました。
お布施については、我が家も同様で、気持ちで包んでいいそうで、気持ちが楽になりました。
檀家制度は、崩壊して来ているけど、仏教文化は、今の私達の生活に、まだ影響を与えている事を、改めて感じさせられた分科会でした。

函館中途失聴者・難聴者協会

中川ミツ子

北の大地から奈良福祉大会に参加しました。
当日は雨の中会場へと向かいロビーには沢山の参加者が、集まっていた。



私は第2分科会で、十輪院橋本純信住職の法話のもと会場には沢山の方々が来ていました。

日本古都奈良で歴史と文化のあるところでの大会でした。
住職は普段「ぶっちゃけ寺」と言う誰でも和談に来る寺だそうで、以前仏教相談を。テレビでも紹介されたそうです。

私達はお寺と言えは街から少し離れた山間のお寺か、静かな家並みの一角にあるお寺と思いがちですが、奈良商店街の中にある「みんなの寺」と紹介されたのは、商店街の店横階段を上ったところで、喫茶店かブッチックを思わせるところで、僧侶が相談を受けると言う事でした。月に100人が訪れると聞きました。

これは皆の「駆け込み寺」と思ってくれればと、住職は言う。

私達は毎日怒りの生活、厳しい生活で、過ごしている、これをどう自分で解いて生きて行くかです。今は科学の世界に洗脳され目に見えない物は信じない現代、無宗教と言いながらも、寺参りに来るが、それは死んだ人への供養することの大切さを、知っていなければならない。人生80年の現代社会、老いても自分なりに元気で、ジョギング、ストレッチと出かける人は幸せだが、それに対応できない人も少なくない。「みんなの寺」も悩み続けて行くのでしょうか。僧侶の話を聞きドアを閉めたとたん胸のしこりが取れた人もいると言う。

月に100人も来ると言うのが、驚きました平均すると一H3~4人これもお話しを聞いて、癒されていくのでしょうか。癒されて一日楽しく過ごせると良いですね。

来年は東京大会、帰りは浅草で、お参りして自分を癒すのも、いいのではないのでしょうか。

バザー販売報告

◆バザー販売には、多数の団体、個人様にご協力いただき、多くの提供品が揃い、過去最高の売り上げを更新しました。役員一同お礼申し上げます。ありがとうございました。

バザー一品提供団体 (順不同) : (一社) 札幌市中途失聴・

難聴者協会、神戸市難聴者協会、滋賀県中途失聴難聴者、(特) 福岡中途失聴難聴者支援福祉協会、(特) ぎふ難聴者協会、川崎市中途失聴・難聴者協会、(特) 茨城県中途失聴・難聴者協会、横浜市中途失聴・難聴者協会、大阪市難聴者・中途失聴者協会、奈良県中途失



聴・難聴者協会、和歌山県中途失聴・難聴者協会、大阪府中途失聴・難聴者協会、京都府難聴者協会、新潟県中途失聴・難聴者協会、生駒市難聴者福祉協会、長野県中途失聴・難聴者協会、益田市中途失聴難聴者協会

個人：江島久美子様、松島みどり様、橘高恵子様、荒川清美様、



美人が付けると、なおステキ！
耳マークのピアス（目代作）

① 寄付金 19,000 円

森朱美様、名倉順子様、有延八千代様、木下隆徳様、匿名 1 名

② バザー売上&バザー協力金 130,337 円

バザー協力金（（特）東京都難聴者協会・（特）兵庫県難聴者福祉協会）

総合計：①寄付金 19,000 円+②バザー売上（協力金含む）130,337 円=149,337 円

地域の活動より

～ 全難聴女性部復活からの 1 年を振り返って ～ 京都府難聴者協会 工藤由紀子

第 22 回全難聴福祉大会 in 奈良（まほろば大会）に 11 月 26、27 日の 2 日間参加しました。女性部担当になる以前は、県内外の全難聴の大会に出たことがなく初めての経験です。府難協発行「JOHO」掲載の報告を見るだけでした。府内の聴覚障害者大会やつどいの参加時に感じていたもどかしさや居心地の悪さが、今回「中途失聴・難聴者」が主体の大会に直に触れ、これが求めていたものだと思います。

ブランド奈良の開催と、1 日目 4 つの分科会は複数に参加したいと思う程魅力的テーマ、2 日目は 4 月「障害者差別解消法」施行後に合わせた内容の、報告・発表、会場からは提案・質問もあり活発でした。アトラクションは見てわかるものが有難かったです。難聴者にも聞こえの差があり、ともすれば忘れがちなもの。細やかな心遣いが至る所に感じられ、当初の予定を大幅に上回る 500 人参加者の 1 人として「まほろば＝大事な場所」大会が胸に刻まれました。昨秋 10 数年振りに近畿ブロック女性部に復活して早 1 年、京都府難聴者協会は南北に長い為、北・中・南ブロックにわけた中に市町村 11 支部があり、各支部が活発に活動、それにブロック毎の事業、府難協の事業が加わる。他に高年部、青年部がそれぞれ企画、集う会を開いている。女性部は 9 月 30 日「京都府聴覚言語障害センター」（城陽市）で近畿ブロック交流会「談笑会」を開催、16 名（奈良・大阪府・市・兵庫・京都）が参加。滝野会長、南部ブロック役員の手助けで開くことが出来、無事終えて良かったです。今後の課題（北部～南部女性）も見据えて片山部長と取り組みでいきたいと思えます。片山部長は今年近畿女性部事務局に推され、第 2 分科会でパネラーの 1 人を務めました。目標に向かって頑張る実力ある女性です。彼女に置いて行かれないように付いて行きたいです。今後ともよろしく願います。

各ブロック「集い」開催報告及び

* 関東ブロック（日帰り）『体験談&スカイツリー見学会』 in 東京

日 程： 平成 28 年 10 月 1 日(土)

主 管： NPO 法人東京都中途失聴・難聴者協会

講 演 会： 那須 善子氏（なす よしこ）手話講習会講師

「NHKみんなの手話」講師アシスタントとして出演中

実行委員長： 明田 美奈子

～参加者の感想～

全難聴女性部関東ブロック研修会（女性部の集い in 東京）に参加して

新潟県中途失聴・難聴者協会

大西邦子

那須さんのすごいファンの方がいて、一緒に一番前の席を陣取ってお話をお聞きしました。期待通りですばらしい体験談でした。ろうのご両親とのホームサインの話を聞いて、正式な手話でなくとも家族共有のサインで通じあえばよいのだと納得しました。そのホームサインは名前の表現はその人の特徴を捉えること。田中さんの顎がとがっていれば、顎をとがらすしぐさで田中さん。時間の表現も朝、昼、夕方などは太陽の動きで（朝は東から陽が昇り昼は顔の真ん中にと移動させて時間を表す）接続詞は表情で。目、口、まゆ、うなずき等で表す。要は家族が共通の言語でコミュニケーションできることが大切。父・母・姉となごやかな家庭で育った様子がうかがえました。

ご自身の結婚、子どもが生まれたら、聞こえても聞こえなくても手話で育てようと、ご夫婦で話し合われたとか。家族がみんな一緒にコミュニケーションできることは、一番大切なことです。健聴の家族の中でひとりだけわからない疎外感は私にも経験があります。聞こえなくとも好きなデザインの道を選び社会人としてもいろいろと経験されて、それが今の那須さんを形成しているのでしょうか。私たちが今やれることは何かと、デフママの情報交換の場づくりや「NHK みんなの手話」等でご活躍されています。家族とは障害者とは何かなど考えさせられた講演でした。

その後は「スカイツリー見学」です。なかなか機会がなく初めての見学なのでこちらの方も楽しみにしてきました。講演会受付、障害者手帳のコピー取り作業、会場から都営地下鉄浅草線で押上駅までの移動と、スタッフの方の手順がうまく感心しました。また都民の障害者は地下鉄料金無料とか、びっくり。スカイツリーに到着後もあまり待たずに展望台エレベーター前に。展望デッキ入場券と展望回廊入場券をもらい、「ここからはみなさん、ご自由に見学してください」と、ここで解散となりました。あいにく天気は曇りでしたが、350メートルのツリー上から暮れなずむ頃よりネオンのきらめくまで東京の町を眺めました。回廊をグルグル回り、疲れてツリーカフェで夜景を眺めながらソラカラちゃんパフェで休憩。新潟から東京まで新幹線で2時間と少し。日帰りでこんなに充実した研修会に参加できて幸せでした。明田女性部長はじめスタッフの方々、大変ありがとうございました。



*東海ブロック（日帰り）「女性の集い in 愛知」

日 程： 平成 28 年 12 月 10 日(土)

主 管： NPO 法人愛知県中途失聴・難聴者協会

内 容： 第 16 回 全国障害者芸術・文化祭 あいち大会に見学・参加

実行委員長： 古木 茂代

～参加者の感想～

東海ブロック「女性の集い in あいち」報告

特定非営利活動法人 愛知県難聴・中途失聴者協会 窓口 古木茂代

東海ブロックは岐阜県のみとなり、三重県・愛知県・名古屋市は窓口で対応しています。でも、ブロック内の交流は続けたい…との思いで、4 協会持ち回りで研修会と代表者会議を年に 1 回ずつ開催しています。

今年度の研修会は愛知県が担当しました。女性部を休部にしたことで存在感は薄れましたが、4 つの同好会が頑張っていて活動をしています

さて、集いの内容は？ 「第 16 回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」が愛知県で開催されることを知り、ブロック内の皆さんにも「こんな障害者の企画に参加していただきたい」と集いとすることにしました。これは、国民体育大会のようなもので、各県が持ち回りで開催されているようですが「初めて知った」方ばかりでした。（来年度は奈良県で開催されます）

「16 回も開かれていたなんて…」 「知的障害者の作品が素晴らしい」「色のセンスが良い」など、展示作品からそれぞれに感じていただけと思います。

6 つの会場を回るスタンプラリーも実施され、皆さんには、冷たい風の吹く中を少し歩いていただき、ガラガラポンにも挑戦していただきました。

また、このあいち大会に一般公募で、愛難聴の女性部内にあった手芸同好会と書道同好会もそれぞれ出品したので、皆さんにも見ていただきました。参加者は、25 名でした。（含 要約筆記者）感想をいただいたので、ご紹介をいたします。

☆他の協会の方々と交流できてよかった。公募の作品も障害者が一生懸命取り組んだことが伺える作品が多く良かったです。

☆愛知で開催された女性の集い、楽しかったです。バイキング料理は久しぶりでした。おしゃべりをしながらいろいろな料理を食べられたので、満足です。



（愛難聴会員の作品）

全国障害者芸術・文化祭では、障害者が作った芸術作品はとても感動しました。こういう催しは始めてみました。同じ障害者として私も何か作ってみたいくなりました。また、このような企画があれば参加したいと思います。

最後に、この企画を起案されたスタッフの皆さん、大変お疲れ様でした。

☆名古屋市民ギャラリー栄の耳マークパッチワーク、グラデーション色遣いが綺麗だったわあ。他の作品もその人に合った素晴らしい才能がすごく良かったです。水彩画、写真、色鉛筆、クレヨン、折り紙、缶ジュース、ステッチ、段ボール、モービル、等々すごい！！みなさんと出会えて良かった。交流会楽しかったです。又、みんなと一緒に参加したいです。楽しみ

にしています。

☆名古屋の中心「栄」に集合して、ラシック「モクモク 風の葡萄」にて昼食バイキングで舌鼓。仲間と会話しながら、たくさんいただきお腹いっぱいになりました。食後は、「集い」のメインである、全国障害者芸術・文化祭あいち大会の美術・文芸作品展を観賞しました。愛知難聴のお仲間たちが作られた「耳マーク」のパッチワークのタペストリーは色使いが素敵で何日もかかったと想像できる作品でした。また、習字も素晴らしい作品になってしばらく見入っていました。普段こういった機会が無いので、企画して下さった愛知難聴の担当の皆さま、ありがとうございます。

29年度 各ブロックの集い開催予定

*近畿ブロック（日帰り）女性の集い「第9回近畿ブロック女性部交流会」

日程：平成29年6月3日（土）

主管：大阪府中途失聴・難聴者協会女性部、大阪市難聴者・中途失聴者協会女性部

テーマ：「難聴でも心豊かに、しなやかに」

内容：講演「認知症の予防と対策」…大阪人間科学大学特任教授 小室八千代氏
楽しいアトラクション（プロによるマジック）もあります。

参加費：3,000円（昼食代を含む）

実行委員長：高田郁代

*東海ブロック日帰り「第17回女性の集い in なごや」

日程：未定

内容：未定

主管：(特)名古屋難聴者・中途失聴者支援協会

実行委員長：佐藤知子

お悔み：平成28年9月27日に名倉順子様が無期休職されました。名倉様は平成10年に全難聴女性部長に就任され、翌年に「女性部だより」1号を発行され今回の37号に続いています。また、女性部の今後の財源になるよう「難聴女性白書」を発行されました。その偉大な功績に感謝と敬意を払いつつ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。（合掌）

事務局だより

※29年度の福祉大会バザー販売は会場の規則で中止となりました。30年度はおこないますのでたくさんの提供をよろしくお願いします。

平成29年度 役員会・県部長会・総会のお知らせ

日時：平成29年6月30日（金）～7月2日（日）

場所：福岡市市民福祉プラザ 501研修会（福岡市中央区荒戸3丁目3-39）

～問い合わせ先～

皆様の情報、投稿をお寄せください。ご意見、ご要望などありましたら事務局までお知らせください。

事務局：加藤 千津子（岐阜県）FAX：058-242-2829 Eメール：chizuko@pcdocwin.jp